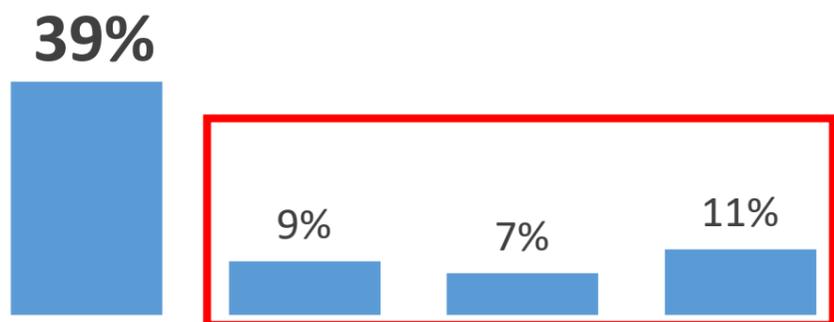


現状

田原本町、三宅町、川西町及び広陵町の4町負担で運営を実施
シャトルバスは、近鉄田原本駅と国保中央病院間で平日19便運行

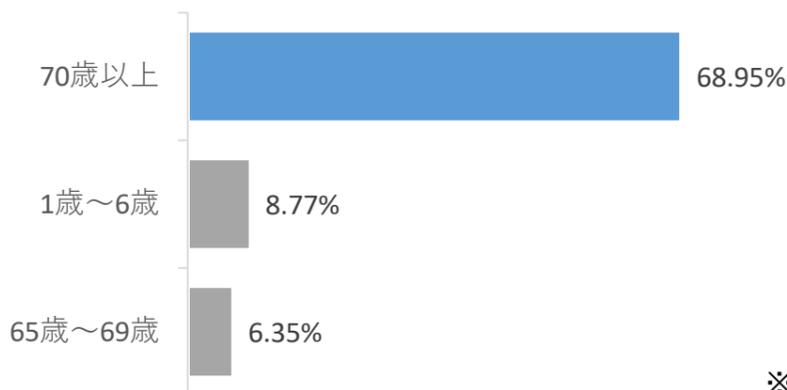
○市町村別受診者割合



田原本町以外
利用率**低**

※平成29年度病院年報参照

○年齢別利用率TOP 3



約**7割**は**70歳以上**

移動方法の把握**要**

※平成29年度病院年報参照

課題

5つの課題

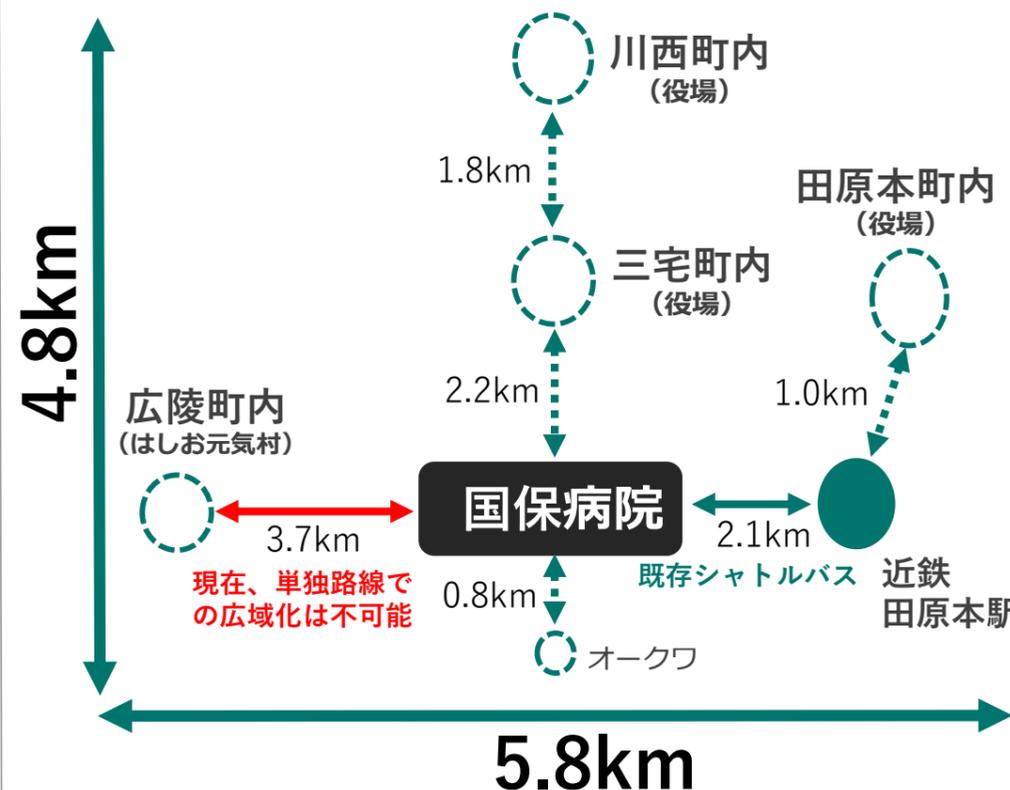
- ・病院及びシャトルバスの運営には各町の負担金が必要
- ・川西町及び三宅町は直通で病院へ行けない。また、広陵町は独自で乗り入れをしている。
- ・利用率を鑑みても今後国保中央病院への移動手段の確保は必要
- ・シャトルバスが近鉄田原本駅のみ運行
- ・シャトルバスの利用状況の未把握

利用状況調査の実施が必要

広域運行の検討

利用状況調査により、受診者の行動把握をし、広域運行のニーズがある場合、下記イメージ図のとおりシャトルバスの広域運行の検討を開始

○イメージ図



2020 ニーズ調査

病院及びシャトルバス利用者を対象とした利用実態調査を実施
→潜在的なニーズを分析 + 他事例等を鑑みて実証実験を検討
※県の交付金を活用

2021 実証実験

利用状況や改善点等を調査する。
※県の交付金を活用

2022 運行開始

現行のシャトルバスのダイヤ・ルートを再編し、病院へのアクセス改善、シャトルバスの利便性向上を目指す。

メリット

○各町のメリット

5つ

- ・川西町及び三宅町から病院へ乗り換え無しでアクセスが可能
- ・広陵元気号の運行経費が軽減される
- ・構成4町のつながり強化（移動距離の増加により関係人口の増加）
- ・運行に繋がらなくても、利用状況のデータを確保できる。
- ・受診率向上により各町負担金の軽減（波及効果）

○国保中央病院のメリット

3つ

- ・受診者の利便性向上及び利用満足度向上
- ・新規受診者の獲得
- ・病院駐車場の混雑解消